

平成28年11月9日

報道機関各位

平成29年度 北海道花き・野菜技術研修 総合技術研修 募集開始について

日ごろより、当センターの事業推進に格別な、御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

当センターでは、本道の花き・野菜の一層の振興を図るため、農業者や技術指導者などを対象とする研修を毎年実施しておりますが、平成29年度の総合技術研修の研修生募集を次のとおり開始しましたので、記事掲載にご配慮くださるようお願いいたします。

◇総合技術研修について

花き・野菜の実践的な技術を有する生産者の育成を目的として実施しており、花きと野菜のコース別に、少人数制による講義・演習・実習・視察研修等をとおして、花き・野菜の基礎から最先端までの幅広い技術を、第一線で活躍中の本センターの研究員や技術指導者から学ぶことができます。

また、本研修は、平成9年から実施しており、これまで、新規就農者、新たな部門開始に必要な農業技術を身につけようとする方など、計181名の方が受講されています。

◇募集期間

平成28年11月1日(火)から平成28年12月27日(火)まで

◇募集人数

・野菜コース 10名 ・花きコース 5名

◇受講資格

・高等学校卒業又は同等以上の学力を有し、心身ともに健康で次のいずれかに該当する方。

- ① 道内において、花き・野菜の生産に従事、又は従事を志している方。
- ② 道内の各農業関係機関・団体などで技術指導等に従事、又は従事を志している方

◇研修期間

平成29年4月11日(火)～10月6日(金)

◇研修に要する費用

研修に係る授業料・教材費は不要ですが、研修寮の食費は各自の負担となります。

◇配付資料

- ・北海道花き・野菜技術研修 総合技術研修について
- ・平成29年度北海道花き・野菜技術研修（専門技術研修・総合技術研修）募集について

※花・野菜技術センターのホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

アドレス：

<http://www.agri.hro.or.jp/list/agricultural/research/hanayasai/index.html>

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）

農業研究本部 花・野菜技術センター 研究部 技術研修グループ

電話 0125-28-2800(内線 315) ※平日 8:45~17:30 土・日・祝日・年末年始はお休みです。

北海道花き・野菜技術研修 総合技術研修について

本研修は、花き・野菜の基礎から実践までの技術を有する生産者の育成を目的に、花きと野菜のコース別に、本センターが定めるカリキュラムに基づき、講義、実習、栽培管理及び視察研修等の実施により総合的な技術を習得いただくことを目的として、平成9年から実施しており、これまで、新規就農者、新たな部門開始に必要な農業技術を身につけようとする方など、計181名の方が受講されています。

◇研修の概要

(1) 研修期間 平成29年4月11日(火)～10月6日(金)

(2) 募集者数 野菜コース 10名
 花きコース 5名

(3) 研修予定内容(※予定のため変更となる場合があります。)

花き・野菜栽培概論、花き・野菜栽培の基礎、土壌肥料の基礎、病害虫の基礎、園芸施設資材、雑草防除の基礎、野菜・花きの鮮度保持、農業経営、農業金融制度など

○ 演習・実習（主なもの）

花き・野菜の栽培管理（花き:デルフィニウム、カーネーション、スターチス・シヌアータなど、野菜:トマト、メロン、ピーマン、たまねぎ等の道内主要品目）
土壌診断、ハウス設置・解体、病害虫防除技術、園芸資材の利用技術

○ その他

視察研修（卸売市場、生産者、集出荷施設など）

○ 自主栽培実習

共通のカリキュラムとして、受講生全員で栽培を行う共通作物栽培の他、各研修生が選択した品目を課題を持って自主的に栽培を行います。

(4) 研修の費用

無料となりますが、研修寮で提供する食事代ののみいただきます。

(4) 研修中の生活

原則、研修中は当センター設置の研修寮で共に生活しながら、研修を受講していただきます。

平成29年度北海道花き・野菜技術研修 (専門技術研修・総合技術研修)募集について

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部 花・野菜技術センター

1 研修の構成

研修名	コース（課程）	研修期間	募集人数
専門技術研修	○花き栽培 ○野菜栽培 ○土壌肥料 ○病害虫	1年以内の範囲で任意に設定	各コース 2名程度
総合技術研修	○花きコース ○野菜コース	平成29年4月11日 ～10月6日(約6カ月間)	花き 5名 野菜10名

2 研修内容

(1) 専門技術研修

高度な専門技術を有する生産者や技術指導者の養成を目的に、担当する研究員等による個別指導を通じて課題解決や各種技術の習得を図ります。

○研修期間の設定

設定された課題によって必要な研修期間が異なるため、営農の都合や指導体制を勘案して個別に開始時期や期間を決定します。1年の範囲内で、数回に分けての受講も可能です。

○コース別研修課題の主なもの

コース（課程）	研修課題の範囲
花き栽培	カーネーション、りんどう、しゃくやくなどの栽培技術
野菜栽培	メロン、かぼちゃ、たまねぎ、トマトなどの栽培技術
土壌肥料	土壌・作物栄養診断技術
病害虫	病害虫診断・防除技術

※期間や詳細な研修内容(課題)などについては、担当研究員グループと事務局との調整の上、決定します。

○受講対象者

高等学校卒業又は同等以上の学力を有し、心身ともに健康で次のいずれかに該当する者。

- ①道内において花き・野菜の生産に従事している者
- ②道内の各農業関係機関・団体などで技術指導等に従事している者
- ③道内において花き・野菜の生産や技術指導への従事を志し、大学、短期大学及び専門学校（農業大学校を含む）等で花き・野菜に関する専門教育を受けた者
- ④その他、本センター場長が認める者

(2) 総合技術研修

総合技術研修は、花き・野菜の実践的な技術を有する生産者の育成を目的に、花きと野菜のコース別に本センターが定めるカリキュラムに基づき、講義、演習、実習及び視察研修などをおして基礎理論から実践技術までを体系的に指導します。

本センターの研究員及び外部講師による指導のほか、経験豊富な専任スタッフが研修全般をバックアップします。

○研修の特徴

基礎理論から実践技術までを講義と演習により段階的に習得します。

・ 講義

主要な花き又は野菜の特性等、基本的理論を講義形式で学べます。

・ 栽培演習

主要な花き又は野菜の生育状況を見ながら、講師とともに作業計画等を集団で定期的に検討しながら栽培を進めることにより、栽培管理の技能・技法が習得できます。

さらに、受講者が自主的に、営農時に取り入れたい品目を選定し、土壌診断に基づいた施肥設計から、育苗、定植、防除等の栽培実践を講師の指導の下、行うことができます。

○平成29年度総合技術研修カリキュラム（予定）

講 義		演 習		その他
花きコース	野菜コース	花きコース	野菜コース	
○主要花きの基礎 12品目程度	○主要野菜の基礎 20品目程度	○主要切花の栽培管理 トルコギキョウ スターチス デルフィニウム 宿根かすみそう ゆり、カーネーション 等	○主要野菜の栽培管理 メロン、トマト ピーマン、かぼちゃ アスパラガス たまねぎ、キャベツ ブロッコリー、いちご ほうれんそう スイートコーン だいこん 等	○卸売市場 ○花・野菜集出荷 施設 ○優良農家 等
○土壌肥料の基礎	○土壌肥料の基礎	○花壇苗の栽培管理	○土壌分析・施肥設計	
○病害虫の基礎	○病害虫の基礎	○鉢花の栽培管理	○ハウス設置・撤去	
○雑草防除の基礎	○雑草防除の基礎	○土壌分析・施肥設計	○ハウス設置・撤去	
○園芸資材基礎等	○園芸資材基礎等	○ハウス設置・撤去	○増殖技術（挿し芽）	
○道産花きの現状 と新技術開発	○道産野菜の現状 と新技術開発	○増殖技術（挿し芽）	○病害虫診断	
○花きの病害	○野菜の病害	○病害虫診断	○土壌調査法	
○花きの害虫	○野菜の害虫	○土壌調査法	○鮮度保持・調製技術	
○土壌と施肥管理	○土壌と施肥管理	○鮮度保持・調製技術	○開花調節技術	
○花きの鮮度保持	○野菜の鮮度保持	○開花調節技術	○ガーデニング 等	
○花き生産と流通	○野菜生産と流通	○ガーデニング 等	○調整技術 等	
○経営管理	○経営管理			
○クリーン農業	○クリーン農業			
○農業金融制度	○農業金融制度			
○農地制度 等	○農地制度 等			

注) カリキュラムは予定ですので、栽培品目等については変わることがあります。

○受講対象者

高等学校卒業又は同等以上の学力を有し、心身ともに健康で次のいずれかに該当する者。

- ①道内において花き・野菜の生産に従事している者又は従事を志す者
- ②道内の各農業関係機関・団体などで技術指導等に従事している者又は従事を志す者
- ③その他、本センター場長が認める者

3 研修中の生活

受講者は、原則として本センター内に設置している「研修寮」に入寮していただきますが、所定の時間までに通える方についてはこの限りではありません。

(1) 研修時間

月曜日から金曜日(祝祭日を除く)までの9時00分～17時00分となっています。

※右の表は標準的な日課です。

このほかの時間でも自主的管理実習が必要なことがあります。

朝 食	7時30分～ 8時30分
講義・演習・栽培管理	9時00分～12時00分
昼 食	12時00分～13時00分
講義・演習・栽培管理	13時00分～17時00分
夕 食	17時30分～19時00分
門 限	22時00分

(2) 宿泊施設の概要

施設内容	研修生室(個室29室)、談話室(テレビ設置)、浴室(2)、食堂、小体育館
食 事	朝食・昼食・夕食(土日・祝祭日の食事の提供はありません)
洗 濯	全自動洗濯機・乾燥機完備

(3) 研修経費

研修に係る授業料・教材費は不要ですが、研修寮の食費は各自の負担となります。

なお、視察研修等による移動の際は、本センターが用意するバス等を利用しますので、交通費は不要です。

食 費	朝食 300円、昼食 400円、夕食 500円(各1食当たり、消費税別)
-----	--------------------------------------

(4) 持参する物

研修に必要な物	筆記用具、電卓、作業着、雨衣、長靴、軍手、ゴム手袋
生活に必要な物	健康保険証、洗面具、上履き2足(寮及び庁舎用)、パジャマ、タオルケット、洗面と洗濯に伴う消耗品

(5) その他

万一の事故に備え傷害保険への加入が必要となります。

4 申し込み手続き

(1) 申し込み

研修の申し込みは、「研修生願書」（「身上調書」を含む）を記載の上、次表を参考に該当する機関からの推薦を受け、本センターに提出してください。

○推薦機関一覧

区分	推薦機関
農業者（法人の構成員を含む）	管轄する農業改良普及センター所長（支所長）、市町村長
各機関、団体等の職員	所属する機関・団体等の代表者
大学、高校等の卒業予定者	学長・学校長若しくは管轄する農業改良普及センター所長（支所長）
新規就農者（予定者を含む）	就農予定地を管轄する農業改良普及センター所長（支所長）、 公益財団法人北海道農業公社理事長（北海道農業担い手育成センター）又は市町村長

(2) 応募期間

専門技術研修 研修開始の原則1ヶ月前まで
総合技術研修 平成28年11月1日（火）～12月27日（火）

(3) 受講許可

受講の許可は、書類等を審査のうえ、締切後速やかに本人へに通知します。
許可通知後は、研修の開始までに保証人と連署の上、所定の誓約書を提出いただきます。

5 お問い合わせ先

○地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部 花・野菜技術センター
研究部 技術研修グループ 主査(研修)

〒073-0026 滝川市東滝川735番地

電話 (0125) 28-2800(代)(内線315) ファクシミリ (0125) 28-2299

E-mail sphanayasai@hro.or.jp

URL <http://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/hanayasai/index.html>